

# ふみびと

第292号  
発行所  
文通村事務局  
編集 広報部  
千葉県成田市

## 越えられなくて よいもの

### 背中

栄養に恵まれた今の時代。父親の背の高さを超えることはそんなに珍しくないこと。それでもなかなか超えられないものもあるもの。それがあの大きな背中。昔と比べると随分小さくなった背中だけど、それでも父親の威厳はそこかしこに感じるものです。

年寄り扱いはされたくない父親のプライドのようなものなのか。「おじいちゃん」という扱いをするにはまだ早いと思わせるように、せつせと動いている姿はまだ私にとつて「父親」そのもの。歳を取っても無理矢理にでも働くようにと自宅に作った薪ストーブの薪を元気に割っている限りは、その姿を見せ続けてくれるような気がします。

とはいえずすがに一人では大変だろうと薪割りを手伝っていると、心配そうに後ろから助言を絶やさない父。まるで子どもに初めてキャッチボールのやり方を教えるように、もっとこうした方がいい、こうしないと駄目だと言われていると、煩わしさを感じながらも子どもの頃を思い出すように微笑ましくもあります。

いつまで子ども扱いされるのか。いつまで子ども扱いしてくれるのか。複雑な気持ちではあるけれど、そうやって力強い背中を見せ続けてくれるのが元氣な証拠。父が「父」でいる限りはたまには子ども扱いさ



に、もっとこうした方がいい、こうしないと駄目だと言われていると、煩わしさを感じながらも子どもの頃を思い出すように微笑ましくもあります。

いつまで子ども扱いされるのか。いつまで子ども扱いしてくれるのか。複雑な気持ちではあるけれど、そうやって力強い背中を見せ続けてくれるのが元氣な証拠。父が「父」でいる限りはたまには子ども扱いさ

### 理想に近づくと

こんな暮らしがしたい、という理想がある。たとえば、早寝早起き。腹八分目。適度な運動。清潔な部屋。機嫌よく過ごす。毎日本を読む。一つひとつはささやかなことだと思つけれど、毎日続けるのはとても難しい。理想のおかげで生活にハリが出るのはよいことだけれど、そのせいで自己

嫌悪に陥ってしまうこともある。全てをおろそかにしてしまった日。う。そこでもいいことを考えた。もう一つ「上手に休む」という理想をつけ加えるのだ。実際、休息の

大切さはよく聞くことだ。がむしゃらに動くよりも、きちんと休む方が効率も上がるらしい。であれば、ちゃんと休める自分である方が理想的だ。それがわかっていれば、休んだ自分を責める必要はない。ちゃんと理想に近づいていくと、褒めてあげるのがちょうどいいくらいだ。

### 風船便

風船便はいつでも誰でも参加できますが、その受取は新規の方へ優先されます。誰に届くかは風次第...。送り方は簡単。下の風船便切手紙を切り取って手紙に貼り宛名に「風船便を受け取った方へ」と書いて、差出人名を書くだけです。あ事務返信筒にのりをつけて、局宛封下まで流し交ります。



### 次回発送日

#### 3月発送日

3月の発送日は16日と31日とさせていただきます。送りたいお手紙がある場合には、発送したい日の2日前（16日発送の場合は14日）までに事務局に到着することを確認の上、余裕をもつてポストに投函してください。最近の郵便事情で遅延の発生が多くなっています。文通村では締切日があります。これはお手紙を必ず出さなければならぬというものではありません。ご自身のペースで「忘れた頃に届く手紙ほど嬉しいものはない」の精神でお楽しみ下さい。

